

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	教育学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価(2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 学部の基本理念である「子ども理解」の明示方法を検証し、その改善を図る。	→「学部ホームページにおける学部の理念・目的・教育目標の明示の有無」「履修心得における学部の理念・目的・教育目標の明示の有無」「学部ホームページの内容を検討する委員会の有無と開催頻度および検討の進捗状況」	B	B			
2. 学部の教育目標と教育課程の整合性を検証し、その問題点を抽出し、その改善を図る。	→「教育課程を常に検討する委員会の有無と検討の進捗状況」「実習科目を常に検討する委員会の有無と検討の進捗状況」「教育課程および実習科目の運営を担当する教職員の連絡調整に関する会合の有無と検討の進捗状況」	B	A			
3. 教育課程の編成・実施方針の学生への周知方法を検証する。	→「履修心得、実習の手引き等、学生向けパンフレットの有無とその継続的改善の有無」「新入生および在学生に対する履修指導、オリエンテーションの開催の有無と頻度」	B	B			

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目6.1.1	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
	(方針明示の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 明示している <input type="radio"/> 明示していない
	(学位授与方針) 学部の基本理念である「子ども理解」について学び、「実践力」「教育力」「人間力」を備えた教育者養成を図る。 (説明) 学部ホームページ、履修心得に学部の理念・目的・教育目標を示すと共に、幼児・初等教育学科と臨床教育学科に分けて、学科ごとに、学部全体の理念が各学科の教育目的・目標とどのように関係しているかを卒業要件と共に示している。
小項目6.1.2	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
	(方針明示の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 明示している <input type="radio"/> 明示していない
	(説明) 学部ホームページには、幼児・初等教育学科と臨床教育学科の理念・目的に合わせた専門教育を行うこと、また、両学科共通の理念・目的である「子ども理解」を基礎にした、「実践力」「教育力」「人間力」を備えた「教育者」養成のために、総合教育科目と学部共通専門教育科目を2学科の共通プログラムとして提供することを図と共にわかりやすく示している。また、履修心得には、これらのことを入学年度に対応して、詳しく説明している。
★ 小項目6.1.3	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
	(周知・公表の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 周知・公表している <input type="radio"/> 周知・公表していない
	(説明) 教育課程の編成と実施方針を学生に周知するため、履修心得、実習の手引き、学生向けパンフレットを作成して履修指導を行っている。また、新入生には履修に関する、学部全体のオリエンテーションに加え、学科ごとのオリエンテーションを行っている。教職員は、教育課程を検討する委員会、実習科目ごとの担当者会、実習委員会を月1度開催し、課題改善と情報の共有を図っている。
小項目6.1.4	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
	(検証の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 検証している <input type="radio"/> 検証していない
	(説明) 幼稚園教員・保育士養成課程担当者会、小学校教員養成課程担当者会、実習委員会等を月1回開催して、課題を明確化し、完成年度後の改善に向けて検討を重ねている。春学期の終わり（7月28日）には教育学部教員懇談会を開催し、3、4年生の研究演習（ゼミ）選択の方法および、教育学部の教育目標と今後の課題について協議した。
その他	

《評価指標データ》

カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
 必修・選択ごとの開設授業科目数
 系列別卒業必要単位数

★ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。	
小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
★ 小項目6.1.3	学科別オリエンテーションの実施。3、4年生対象の研究演習開講に関する履修手順をホームページ上に掲載。ホームページ上の学外実習紹介ページの更新。
小項目6.1.4	カリキュラム委員会、実習担当者会、実習委員会、幼稚園教諭・保育士養成課程担当者会、小学校教員養成課程担当者会をそれぞれ月1回開催し、教育課程の編成・実施方針の適切性について検証を行った。また、法令改正に伴い、保育士養成科目を変更した。
その他	
【次年度に向けた方策(1)】伸ばさせるための方策 注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。	
小項目6.1.2	
★ 小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価 (2)】改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。	
小項目6.1.1	簡潔な文体でのディプロマポリシー明示
小項目6.1.2	
★小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

《次年度に向けた方策(2)》改善方策 注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。	
小項目6.1.1	ディプロマポリシーを簡潔に示す表現方法についてカリキュラム委員会で検討し、その後、学部長室会、教授会の審議を経て決定したものを、ホームページ上に掲載する。
小項目6.1.2	
★小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】	
★その他 (自由記述)	

III. 学内第三者評価

<評価専門委員会の評価>

【学外委員】

- おおむね順調に推移していると判断されます。
- 「現状の説明」が具体的でわかりやすく、「目標」設定も適切です。

【学内委員】

- 現状の説明の中で記載されている学位授与の方針は、教育目標であり、両者は区別されるべきです。授与の方針は、教育目標が達成されたときに学生が獲得しておくべき能力をしめすものであるため、別途定めることが期待されます。
- 学位授与の方針欄に記載の内容は養成する人間像です。学位授与の方針は、課程修了にあたって修得しておくべき学習成果、その達成のための諸要件（卒業要件）等を明確にしたものであり、理念・目的を踏まえ、設定されているものです。方針に関し追加記述を求めます。
- 小項目6.1.1の（方針）には、学位授与方針そのものを書いてください。現記述の内容は学位授与方針ではありません。大学基準協会の留意すべき事項を参照してください。
- 小項目6.1.3では、教育課程の編成・実施方針だけでなく、教育目標、学位授与方針についても聞いています。その記述が求められます。

【大学基準協会：評価に際し留意すべき事項】

- 小項目6.1.1
基盤評価：「課程修了にあたって修得しておくべき学習成果、その達成のための諸要件（卒業要件・修了要件）等を明確にした学位授与方針を、理念・目的を踏まえ、設定していること」
達成度評価：なし
- 小項目6.1.2
基盤評価：「学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法などに関する基本的な考え方をまとめた教育課程の編成・実施方針を設定していること」
達成度評価：なし
- 小項目6.1.3
基盤評価：「公的な刊行物、ホームページ等によって、教職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対して、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針を周知・公表していること」
達成度評価：なし
- 小項目6.1.4
基盤評価：なし
達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている」

IV. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

《現状の説明》6.1.1の（学位授与方針）部分を下記のように修正。
 （学位授与方針）4年間の学修を通して、幼児・初等教育学科の学生は、知的側面に加えて、心の側面を含めた全人的人間理解を持って教育を行うことができるようになる。また、臨床教育学科の学生は、教育学（教育人間学、教育方法学、教育社会学）の知識と方法に教育相談と特別支援教育の知識と技術を加え、子ども、保護者、教師への支援の在り方を理解し、理論と方法を統合しつつ問題にかかわることができるようになる。そのために、卒業要件として、総合教育科目（キリスト教科目、言語教育科目、情報処理科目、教養教育科目及びその他総合教育科目）計26単位、専門教育科目（学部共通科目、幼児・初等教育学科あるいは臨床教育学科専門科目、その他専門教育科目）計78単位、その他総合教育科目・専門教育科目及び他学部開講科目20単位、合計124単位を修得することとする。

★
 《現状の説明》6.1.3の（学位授与方針）部分に下記のように追記。
 また、学位授与方針については、学生にわかりやすい言葉でディプロマ・ポリシーを明示し、卒業要件と共に公表することを検討している。